

世界初ハイブリッドラフター※ 受注開始！ 充電切れの心配なく走行でき、建設現場ではCO₂排出ゼロを実現

株式会社 加藤製作所(本社:東京都品川区、代表取締役社長:加藤公康)は、2024年11月8日(金)より、かねてより開発していたハイブリッドラフターSR-250HV(ハイブリッド式ラフテレーンクレーン)の受注を開始致します。



SR-250HV

EK-UNIT
POWER SUPPLY

※「ラフター」とは、運転席とクレーン操縦席が一体の建設用クレーン車であるラフテレーンクレーンの愛称であり、当社の登録商標です。

■開発背景

建設機械分野では、CO₂排出量削減を目指し従来のディーゼルエンジン式から電動式への移行が進んでおり、当社においても完全電動化に向けての研究開発を推進しております。一方、現実的な問題として、建設機械は大型になるほど高出力で大容量のバッテリーが必要となることから生産コストが大幅に上昇してしまいます。中～大型機種において同様程度の性能のものを電動型として生産した場合、販売価格が既存同型機の4倍程度まで上昇してしまう試算となったことから、普及に向けては価格の抑制が重要な課題であると認識しております。

また、日本国内ではガソリンスタンドと比べ充電ステーションの普及がまだ十分ではないことから、電力のみで稼働する建設機械に対してお客様からの不安の声も多く寄せられています。さらに、建設現場では専用充電設備の確保が難しい現状です。

こうした状況を踏まえ、当社では「適正な価格で、充電切れの心配がなく、CO₂排出量削減が可能なクレーン車」を目標に研究を進めました。その結果、従来のディーゼルエンジンに加え電動モータを装備したハイブリッド式ラフテレーンクレーン(ハイブリッドラフター)が、現在の日本市場においては最適な製品であると判断いたしました。

■CO₂削減効果

走行時

CO₂削減効果

最大 約**40%**

エンジン&電動モータによるハイブリッド方式で走行し、減速時には回生エネルギーをバッテリーに充電、発進時の動力補助に利用します。また、現場内低速移動時には電動走行も可能です。

定地定速走行時には、同クラスのエンジン機に比べ最大約40%のCO₂削減効果があります。



クレーン作業時

※外部電源油圧ユニット「EK-UNIT」を使用し、太陽光・風力・水力由来の電力を使用している稼働時



実質 CO₂ 排出量

0

※

政府が掲げる「2050年までにカーボンニュートラル実現」という目標に向けて、環境配慮に取り組む企業では太陽光・風力・水力などの自社発電を行い、建設現場でその電力を活用することでCO₂排出量削減を推進しています。

当製品は、外部電源を利用する油圧ユニット「EK-UNIT」から油圧供給を受けることで、クレーン作業時の実質的なCO₂排出量をゼロにすることが可能です。

■外部電源油圧ユニット EK-UNIT



当製品は外部電源油圧ユニット「EK-UNIT」を標準付属品としています。これにより、電源確保が可能な建設現場では、電力のみでクレーン作業を行うことが可能です。

また電源確保が難しい場合でも、従来通りエンジンを稼働させることにより、クレーン作業を行うことが可能です。

■今後の展望

当社は環境や社会課題の解決に寄与し、各種条件に応じた最適な技術を提供することで、顧客の選択肢を広げ、カーボンニュートラルの実現を加速できると考えています。引き続き環境配慮型製品の開発と普及を推進し、CO₂排出量削減に貢献するとともに、今後も総合建設機械メーカーとして市場ニーズに沿った製品の開発を進めてまいります。

■製品概要

商品名称	SR-250HV + EK-UNIT	最大吊上げトン数	25t
発売予定日	2025年2月	最大ブーム長さ/ジブ長さ	30.5m/13.1m
販売目標	100台 / 5年	最大地上揚程	44.6m
標準小売価格	¥73,800,000(税別)より ※販売価格は装備等により異なります	最大作業半径	34.0m

■会社概要

商号：株式会社 加藤製作所
所在地：〒140-0011 東京都品川区東大井 1-9-37
設立：1935年1月(昭和10年1月) 創立：1895年(明治28年)
事業内容：建設用クレーン、油圧ショベル等及びその他の製品の製造ならびに販売
URL：<https://kato-works.co.jp>

【本プレスリリース、取材に関するお問い合わせ先】

コーポレートコミュニケーション部 担当：昇(のぼり)、小浦(こうら)
TEL：03-3458-1144 FAX：03-3458-1151 MAIL：pr-kato@kato-works.co.jp